




◎ 文しょうを読んで、にあてはまることばを文しょうの中からぬき出して書こう。

今日は、夜のピクニック。みんなでニコニコ山の池に来ました。およぐのが大すぎなみんなは、元気に池にとびこみました。ためきくんはひと休み。すわってみんなを見てみると、おなかがグーッと鳴りました。すると、池の中に黄色くて丸い、ふかふかのパンがうかんているが見えました。

「わあ、おいしそうー！」

ためきくんは、池にうかぶパンにむかって、ジャンプしました。ところが、パンはつかめず、ためきくんは池におちてしまいました。「たいへん。ためきくんがおちちゃった！みんな、手をかして。」「ああ、びっくりした。みんな、ありがとう。」

ためきくんがちよっぴりはずかしくなって空を見上げると、黄色くて丸いお月さまが、にっこりわらっていました。パンだと思ったのは、これだったのですね。

① ためきくんは、どうして池におちたのかな。

をとろうして、

池にむかって

したから。

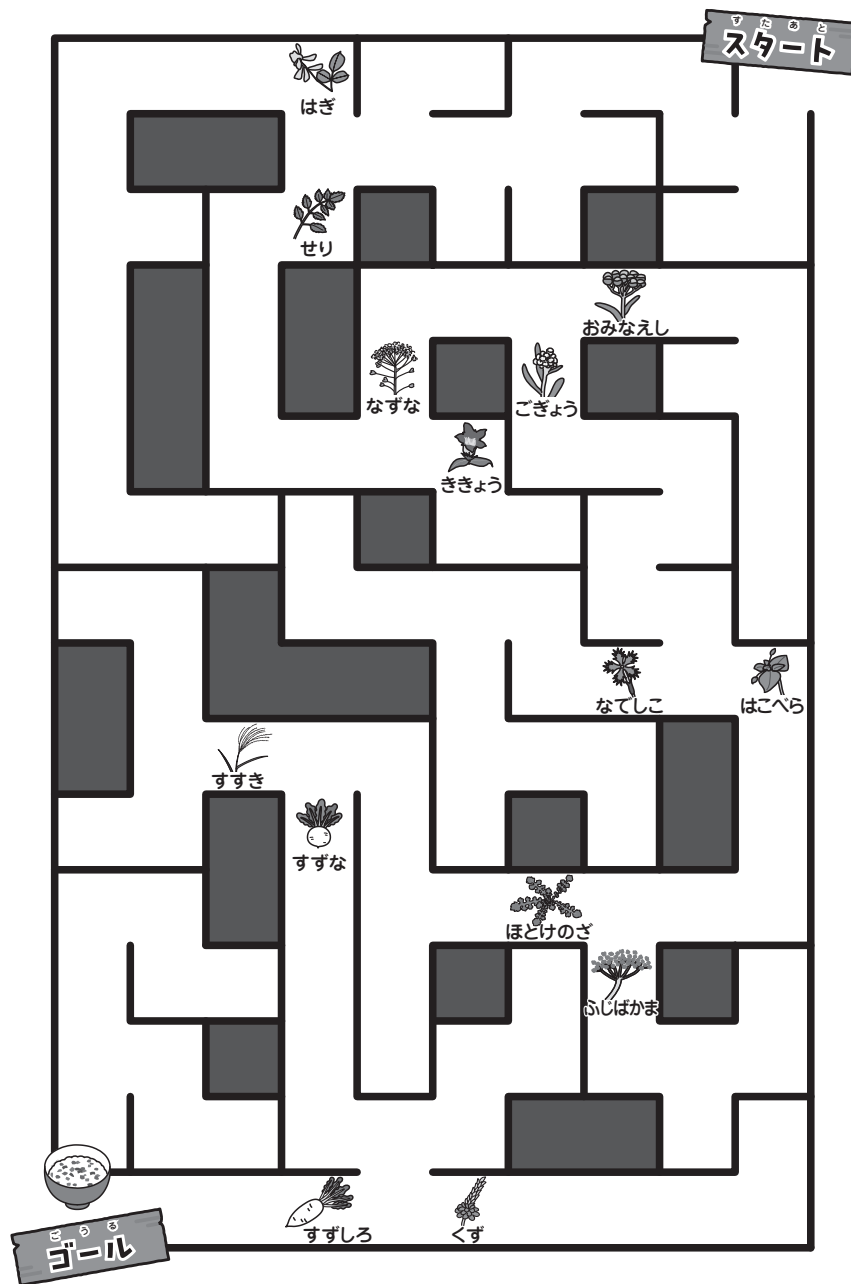
② ためきくんがとうとうとしたものは、何だったのかな。

池にうつった



物語文を読み、出来事の因果関係をとらえる問題に答えます。ここでは、「なぜ」「だから」「から」「ため」のような、直接的に因果を示す言葉を用いない文章を読み、結果となる出来事から遡って、原因・理由となる言動(出来事)を探します。

◎ 「春の七草」をあつめて、スタートからゴールまですすもう。



★春はるの七草ななくさの名前なまえを、あつめたじゆんにに書き、声こゑに出だして読よんでみよう。



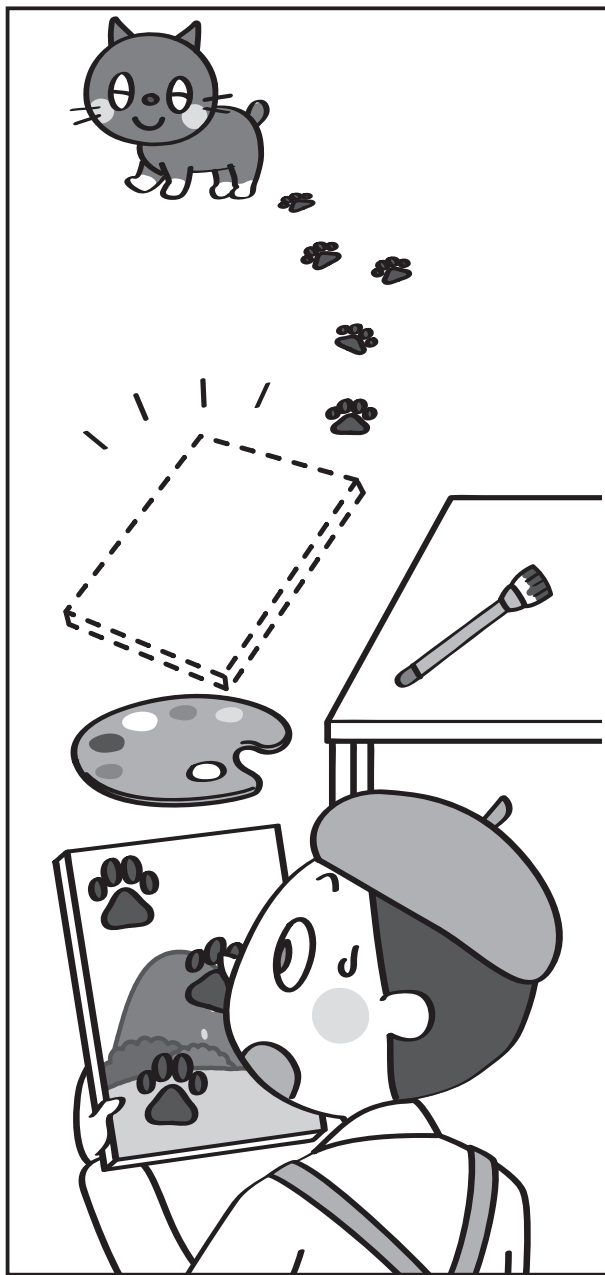
こ				
れ				
ぞ				
な				
な				
な				
く				
さ				

春はるの七草ななくさは、五ご・七しち・五ご・七しちのリズムでおぼえられるよ。これは、「たんか」という、ししのリズムだよ。



分かれ道で「春の七草」のある方へ進むと、ゴールにたどり着ける迷路です。日本では、1月7日「人日の節句」に「春の七草」を入れた「七草がゆ」食べる風習があります。「春の七草」は、五・七・五・七・七の、短歌のリズムで覚えることができます。なお、迷路の間違いの選択肢は「秋の七草」です。「秋の七草」は、眺めて楽しむ秋の野に咲く野草です。

◎ つぎの絵を見て、後の①・②・③の□にあてはまることばを
 考え、ひらがなで書こう。



① 絵かきさんがおどろいているね。どうしてだろう。

絵に、

の

が

たくさんついていたから。

② どうして①のようになってしまったのかな。

が、ゆかにおいてあった

を

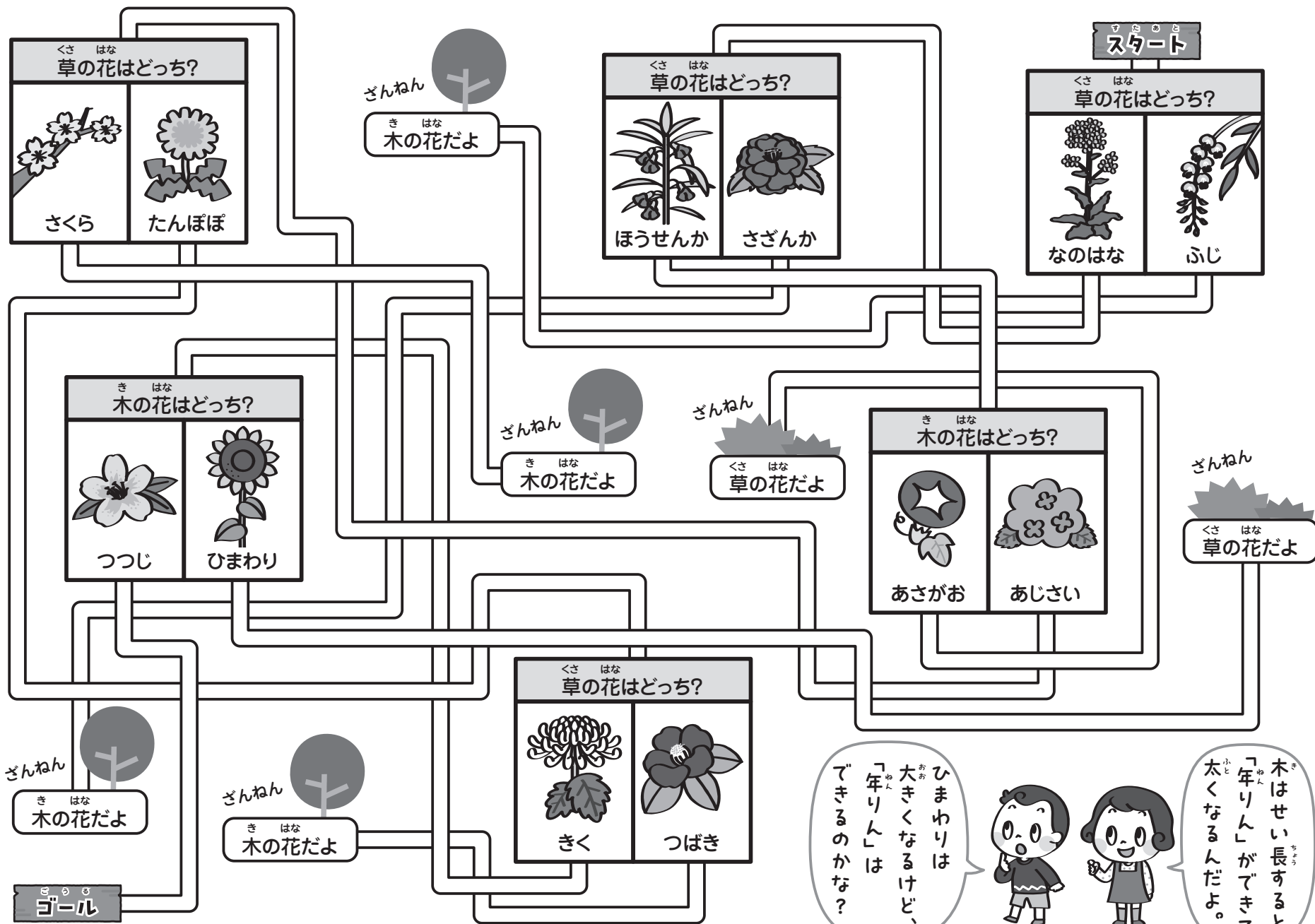
足につけて、絵の上を

から。

③ ねこは、どんな気もちだったかな。自ゆうに考えてみよう。

因果関係とその後の展開を想像し、言語化する問題です。まず、描かれている場面を見て、今、どのような状況であるかをとらえます。そのうえで、なぜそうなったのかという原因を考えていきます。また、猫がどんな気持ちであるかを想像することで、この出来事を物語として膨らませることができます。

◎クイズに答えながら、スタートからゴールまですすもう。



「年りん」は大きくなるけど、ひまわりは大きくなるけど、できるのかな？

「年りん」ができて木はせい長すると太くなるんだよ。

身近な花の名前を覚えながら、それが木の花(木本)か草の花(草本)かを学びます。ここでは、教科書に出てくるものや、街路樹などとしてなじみが深いものなどを取り上げています。このように、「花が咲く植物」という共通点をもつグループを、木に咲くか、草に咲くか、という相違点で分け、対比して見ることによって思考が深まります。

みにつく力

ことばの力

ろんりか